



福田 昌弘【所長】  
(ふくだ まさひろ)

久しぶりに読書♪⑮

最近読んだお勧め本のご紹介です。

N 道尾 秀介 著 集英社文庫  
6つの章で構成されている小説ですが、なんと読む順番は自由で、読む順番を変えると違う物語になるという、この作家さん天才か? と思いました。一章おきに上下逆さまに印刷されており、斬新かつ未知の読書体験ができる前代未聞の1冊です。興味のある方は、是非読んでみてください♪



加藤 忠志  
(かとう ただし)

気づいてもらえず

先日、仕事の途中で郵便局のATMに寄ったときの事です、暑くなってきてATMの入り口横に簡易型のエアコンのようなものが設置されたようで、局員の方がコンセントを外そうとして硬くて外れない様子で作業されていました、自動ドアが開き横から入る私がATMの入り口横で待っていたところ他の局員の方と間違え後ろ向きで作業しながら、私に喋っていたのですが、反応がなく振り返られ、私を見てものすごく驚かされていました、その反応がものすごく可笑しかったので、その姿に私も驚いてしまい、お互いに笑ってしまいました、このような時はどうした良いのか考えてします、何か良い方法があったら教えてください。



阿部 友亮  
(あべ ともあき)

前の部署のお話

福祉用具相談員になってもうすぐ4年半になります!福祉用具相談員になる前の部署のお話になりますが、介護ロボットの営業をしていました!主に服薬支援ロボを販売していました!なんと設定した時間になるとお薬の時間ですと伝えてくれるものになります。右記の写真は施設へ納品した時の写真になります。施設では職員さんの管理、在宅では飲み忘れてしまう、飲みすぎてしまう方がご利用されておりました。今はⅡが出ているみたいで性能も上がっているようでした!写真が懐かしかったので、お話ししたくなってしまう、つい(笑)



波田野 正  
(はたの あきら)  
理学療法士

海亀がいるレストラン!?

梅雨の蒸し暑さを感じるこの季節、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。私は先日、千葉県千葉みなと駅近くにある「PIER-01」というレストランにお邪魔してきました。ここは海に面したレストランでテラス席はもちろん、店内に大型水槽があり、優雅に泳ぐウミガメを鑑賞しながら料理を楽しめる珍しいお店です。また、ふと海の方を見ると多種多様なワンちゃんの散歩姿が見られます。ぜひ、皆さんも足を運んでみてください!



基本理念は



今月の地図情報はお休み☆☆

猛暑の候…頭を抱えたくなる程の湿度で連日肌と服の間がベツチョコベツチョコのギットギトな折に、ともすれば宇宙の彼方まで飛び出していけそうな爽快感で鬱屈を吹き飛ばしたるものは…そうです、甘いものです！

写真は、右側が皆様ご存知であろう有名チョコレートブランド『GODIVAの』さんの店舗でお飲み頂ける（鴻巣近辺だとモラージュ菖蒲店さんが一番近場です）、数量限定ショコリキサーの『チョコレートミントショコリキサー（レギュラーサイズ持ち帰りで税込¥870-）』。そして、写真左側がこれまた（多分）皆様ご存知であろうカフェチェーン店のカフェ・ド・クリエさん（鴻巣近辺だと桶川駅の近くの桶川メイン店さんが一番近場です）謹製の期間限定ソルベージュ『ぱりぱりチョコミント〜2つのチョコレート〜（税込¥690-）』です。6月は気の触れた様な暑さと湿気の続く日々でしたが、その代わりに全国規模でチョコミントスイーツが大豊作!!! 良い時代になったものだと五体投地の夢見心地で津々浦々のチョコミントを食べたい放題の好き放題の毎日でございます。嗚呼、これでもう少し世界が涼しければ…さて本題に触れていきますが、今回ご紹介のスイーツ2種はいずれもフラッペ系!チョコミントがショコリキサーやソルベをやっているだけでも大正義なのですが、片やチョコレートの老舗が満を持して繰り出すチョコミントという事もありチョコレートの味わいと深みが段違いで、ミントドリンクの方もしっかりと爽快感を齎しつつも天辺のクリームと混じり合う事でチョコレートに比肩する重厚感を醸しており、チョコレートブランドとして戦い抜いてきたお店の繰り出すドリンクとして”歴史の厚さ”の様なものを感じる一品でした。そしてもう片や、チョコミントというコンテンツに真摯に向き合い10年以上の歳月を歩んできたお店が2025年に生み出したというチョコミントのソルベージュは、どちらかというミント重点な味わいで、ミントの爽やかさがミルクのコクに乗ってダイレクトお口の中を駆け抜けていくようです。チョコレートも表題に違わないパリパリ具合で、食感としてもミントの合間に差し込まれる甘さとしても心地よいアクセントとなっており、全体的にミントとチョコで味の強い二極が奇跡的なバランスの上でダンスをしているような心地でした。この様に、同じチョコミントで尚かつ同じフラッペ系統のスイーツでありつつも、方向性の違いが味わいに現れており、これが何とも趣深いっ!世は正にチョコミント戦国時代、フラッペに限らずアイスからメロンパンまで多種多様なチョコミントが跋扈する昨今、諸兄諸姉のDNAに共鳴する一品を、是非とも発掘してみてください…!



黒沢 紫雲  
(くろさわ しゅん)  
義肢装具士

